

町民の皆さんの声を活かした「まちづくり」へ

ハートフル対話 開催

1 月31日から2月27日まで、町内8会場において、ハートフル対話を開催し、町民294人のご参加をいただきました。

ハートフル対話は、山口町長と町民の皆さんがまちづくりについて意見交換を行うことで、町政について一層のご理解とご関心を持っていただくとともに、各会場で伺ったご意見をまちづくりに活かすことを目的に、平成11年度から毎年開催しています。

今回のハートフル対話では、美浜発電所の状況と「もんじゅ」に関する政府方針、また、町が実施している各種振興施策について説明しました。

その後、ご参加いただいた方々からのご質問やご意見に対して、山口町長が説明や回答を行いました。

今月号では、対話の中でいただいたご質問やご意見の一部をご紹介します。



三方五湖遊覧船について

問 美浜町レークセンターの遊覧船が運航していない状態について、どのように考えておられますか。

答 遊覧船は㈱三方五湖レークセンターが運航していましたが、運営が難しくなり、昨年12月に休業しました。町では、遊覧船による三方五湖巡りは重要な観光資源と考え、運航再開に向けた取り組みが急務と考えています。しかし、今のところ他の運営会社も見つかっておらず、再開の目は立っていないのが現状です。

今後は、若狭町ともワーキンググループを作って、広域で対策を考えていきたいと思っています。



↑美浜町レークセンター

レインボーラインについて

問 レインボーラインを管理・運営する福井県道路公社が、2年後に解散すると聞きました。解散した場合、レインボーラインは有料道路から町道や県道になると思いますが、今後の見通しをお聞かせください。

答 福井県道路公社が運営する、勝山市の有料道路は平成33年で終了します。その道路が無くなれば、道路公社自体も解散する可能性があります。

災害時にも機能するため、若狭町とは、有料道路として残してもらいたい意向で一致しています。



↑レインボーライン

総合体育館のジムについて

問 総合体育館2階のトレーニングジムについて、子どもと一緒に利用しようとしたら、中学生は利用できないとのことでした。保護者同伴の場合は、利用できるようにしてほしいと思います。

また、使い方の分からない器具があるので、年に何回か使い方の説明会を開催してほしいです。そうすれば利用者も増えると思います。

答 中学生の使用については、ジム内の各トレーニングマシンは大人の使用を想定し設計されたものです。また、専属のトレーナーが常駐していないことから、子供(中学生以下)が利用した場合、思わぬ事故に遭うことが考えられます。

また、体の成長の面からみて、個人差はありますが、15歳以下の年頃は体の成長期であり、体格、体力の面で非常に未熟であるため、負荷の高い機械トレーニングを行うと骨の発達に悪影響を及ぼす可能性があると言われています。

以上の理由から、本施設では、保護者同伴に関わらず、中学生のご利用をご遠慮頂いています。

次に、使い方の説明会について

は、年に18回、外部講師を招きトレーニングルームを利用したシェイプアップトレーニング教室を開催しています。教室では、トレーニング機器を使用し自分に合った筋肉トレーニングを行っています。

ただし、この教室は18才以上の女性を対象としているため、その他の方が利用できる教室を、来年度から検討したいと思っています。



↑総合体育館内のトレーニングジム

日時	会場	集落	人数
1月31日(火)	丹生公民館	丹生	43人
2月13日(月)	竹波原子力防災センター	竹波	17人
2月15日(水)	菅浜農業構造改善センター	菅浜	35人
2月16日(木)	あおなみ保育園(遊戯室)	坂尻・山上・太田・佐田・北田・けやき台	35人
2月21日(火)	美浜中学校(ランチルーム)	河原市・南市・和田・木野・佐柿・小倉・栄	50人
2月22日(水)	美浜中学校(ランチルーム)	麻生・中寺・宮代・小三ヶ・新庄・野口・佐野・上野・興道寺・雲谷	40人
2月23日(木)	美浜町北西郷公民館(和室)	早瀬・笹田・日向	37人
2月27日(月)	美浜町南西郷公民館	気山・大藪・金山・久保・郷市・松原・久々子・矢筈	37人

空家対策について

問 台風により集落内の民家(空家)が壊れました。壊れた空家は勝手に解体できず、所有者に頼んでも、お金が無いため解体できないと言われました。

空家に関する制度がどのように変わったのか説明してください。

答 町では、2月7日に「美浜町空家等の適正な管理に関する条例」を制定しました。この条例では、空家の管理について、所有者の責務や町の責務、町民の役割を定めています。

条例に基づき、町では、近所に危険や悪影響を及ぼす「特定空家」の対処に積極的に取り組みます。所有者による改善を促しながら、最終的には、行政代執行による撤去・解体も行っています。



↑美浜町空家等対策計画の策定

美浜町地域づくり拠点について

問 道の駅を作るとのことですが、いつ頃、どこに建設するのですか。

答 町では、平成29年度から「美浜スマート・コンパクトシティ魅力創造拠点化計画」の策定に取り組み、町民中心のスマートかつコンパクトなまちづくりを進めていきます。

美浜町地域づくり拠点の整備は、平成29年、30年の2ヶ年で計画を作っていきます。平成34年に北陸新幹線敦賀駅開業となるため、平成33年に一部開業できたらと思っていますが、場所はまだ特定していません。美浜駅付近を想定しています。



↑美浜駅付近

医療体制について

問 母が認知症で、入院していましたが、病院から連れて帰りたいのですが、診察のため医師が自宅まで訪問することは難しいとのことでした。家で面倒をみれるような医療体制を整えてほしいと思います。

答 在宅医療・介護は、町内だけでなく全国的にも見られるものです。近年は、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携し、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することが重要になってきています。すなわち「病院施設から地域へ」の流れが変わってきています。

平成30年には、医療や介護の計画を策定します。認知症にも対応できるように、郡の医師会等とも協議しています。今後、計画策定のためアンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。

農業振興施策について

問 農業施策について、後継者問題が深刻です。農業を守るためにも、兼業農家への支援を考えてほしいです。また、小規模の農業者にも町の施策を浸透させてほしいと思います。

答 国では、メガファーム(大規模酪農経営)を推進していますが、美浜町のような中山間地域では、地理的に実現は困難と思われます。そのような中、町では、水田園芸を推進しており、ハウス支援も行っています。また、美浜町農業基本計画を策定し、「もうける農業」むらづくり農業」の2つを軸に、平成28年度には25の事業を行っています。認定を受けていない個人農家に対する支援は難しいのが実態ですが、3戸以上の小グループに対する支援は行っています。

今後、農業基本計画の事業について、より分かりやすくPRしていきたいと思えます。

子どもの事故防止について

問 子どもの事故防止に力を入れていただきたいです。自転車用ヘルメットの購入に対する助成があるとのことですが、例えば、中高生を対象とした保険や、車に乗る機会の多い高齢者への対策等も考えてほしいです。

答 町内の学校では、児童全員が学校安全会の保険に加入しています。額は大きなものではないですが、学校生活の中でのけがや受診等に対応しています。

原子力発電所の増設について

問 原子力発電所を増設する予定はあるのでしょうか。

答 関西電力(株)では、平成22年11月から、美浜1号機の後継機設置の可能性調査を進めていましたが、東日本大震災を受け中断しています。

現行の国のエネルギー基本計画では、原子力発電所の増設やリプレースについては示されていません。今年はその計画が改定の時期であり、地球温暖化や日本のエネルギー事情を踏まえると、原子力発電は今後ともに必要であり、改定にあたっては、新増設やリプレースの必要性が明確に示されるよう、声を上げていきたいと思えます。

エネルギー環境教育について

問 エネルギー環境教育について、国ではなく町が取り組むことになった経緯を教えてください。また、きいばすの維持管理が、町にとって負担にならないか心配です。

答 平成16年に発生した、美浜3号機の二次系配管破損事故では、放射能を含まない二次系の事故であったにも関わらず、風評被害が発生しました。また、原子力発電が温暖化対策に役立っていないのでは、というような誤解もありました。そのような中で、エネルギーや環境の教育の必要性を痛感し、原子力発電の先進地であり、地域の立地特性を活かした、エネルギー環境教育を進めていくことになりました。

きいばすの施設整備には、もんにゆに係る電源交付金等を活用しました。また、今後の運営や維持管理については、基金や入館料・体験料等を充てていきます。なお、町では、町外・県外から多くの人にきいばすを訪れていただくことで、町内の経済効果につながっていくよう取り組んでいきたいと考えています。

廃炉に伴う廃棄物について

問 廃炉に伴う廃棄物はどうのように処理するのでしょうか。

答 廃炉となる美浜発電所1号機及び2号機からは、約35万トンの廃棄物が発生します。そのうち97%は一般廃棄物であり、できる限りリサイクルされることになっていますが、残りは産業廃棄物として処分されます。放射性廃棄物は、約1%の5万トンで、放射能のレベルによって処分方法が異なります。レベルが最も高いものは、余裕深度処分と言い、地下約70メートルよりも深い地中に埋設保管され、一定期間事業者及び国が管理することになっています。処分先については、まだ決まっていません。

また、使用済み燃料は、その全量を再処理して再利用することになっていますが、発電所内で保管された後に再処理されるまでの間の貯蔵施設が必要となります。現在、関西電力(株)では、県外での建設に向けて検討を進めています。



↑スライドを使い町の施策等を説明する山口町長

まちづくりのご意見・ご要望をお聞かせください

治太やんBOX・治太やんメール



町 では、町民の皆さんに、まちづくりに対してのご意見やご要望等をいただくための窓口として、「治太やんBOX」を設置するとともに「治太やんメール」を設けています。
お寄せいただいたご意見等は、山口町長が目を通した上で、回答させていただきます。平成28年度には、4月からこれまでにBOXに12件、メールに7件のご意見やご質問をいただいています。
今回は、皆さんからいただいたご意見と町の対応の一部を紹介いたします。

なびあすに設置している治太やんBOX

治太やんBOX

- 町役場(1階町民プラザ)
- はあとびあ(1階ふれあい広場)
- 東部診療所
- 丹生診療所
- 総合体育館
- なびあす(総合案内)

治太やんメール

- ★ 次のメールアドレスに送信してください。
jitayan@town.mihama.fukui.jp
- ★ 町ホームページを利用し送信してください。
(<http://www.town.mihama.fukui.jp>)

※お問い合わせ先 町企画政策課 (担当・大道) ☎ 32-6701

検診の補助について

問 P・E・T検診は妊婦・糖尿病・肝疾患の方々の受診には制約がありません。これらの方々も受診可能な「マイクロアレイ血液検査」も補助対象となるようご検討ください。

答 町では、集団及び個別検診により実施するがん検診の受診を強く勧めるとともに、高額ではあるものの、がんの発見率がより高く、がんの部位が明確に分かる「P・E・T・C T検査」を勧められています。ご指摘のとおり、P・E・T・C T検査にも一長一短があり、糖が集積しやすい部位のがん診断については苦手としている一面があります。

一方、「マイクロアレイ血液検査」は、少ない採血による検査が可能で、薬剤やX線の使用によるリスクが無く、P・E・T・C T検査が苦手とする消化器系がんの発見を得意としています。しかし、がんの部位を特定することや消化器系以外のがんの発見については困難な検査です。また、消化器系がんのうち、がんの発見率が比較的高い胃がん・大腸がんについては、町の集団健診や個別健診での受診が可能です。

このような理由から、今年度は導入を見送ることにしました。

テニスコートの無料化

問 テニスコートを無料にしてください。また、遊ぶところを増やしてください。

答 テニスコートを含め、美浜町総合運動公園の維持・管理は町が行っています。老朽化・破損に伴う修繕費や電気代等の光熱水費、その他を含め維持管理経費に毎年約6千万円程度の経費が必要となります。これらの費用は町民の皆さんの税金も使われることとなります。そのため、町では受益者負担の原則により使用される方に対し、使用料を納付して頂いています。

ただし、町の行事や小・中・高校等による授業の一環として利用する場合、障がいのある方等の団体や、町内の青少年健全育成を目的とした団体が利用する場合に限り、無料で使用できます。

以上の理由から、使用料を無料にすることは難しいですが、今後もご自身の健康維持や技術力向上のためにも積極的に施設の使用を頂ければと思います。

美浜町多目的学校プール

問 美浜町多目的学校プールにウォータースライダーを作ってください。また、夏休みにもたくさん使えるようにしてください。

答 美浜町多目的学校プールは、美浜中学校が管理する施設であり、学校教育のために作られたプールです。そのため、ウォータースライダー等の遊具を設置することはできません。

また、一般の方がプールを使える一般開放は、例年10日程度行っています。夏休み中は、町が実施する水泳教室や保育園による使用があるため、なかなか開放日を増やすことは難しいですが、今後いろんな方と調整しながら考えていきます。



↑美浜町多目的学校プール

信号の待ち時間について

問 敦賀信用金庫前にある横断歩道(美浜駅に向かう方向)の待ち時間が長いです。

答 敦賀警察署にも確認したところ、この交差点は国道を通行する車両が非常に多いため、美浜駅方向の横断歩道の待ち時間の方が長くなっています。

信号機は、道路の渋滞や交通事故を防止するため、その時の交通量によって信号が変わる時間や付近の信号機との調整をしています。そのため、この信号機だけ、時間を簡単に変えることはできません。待つ時間が長く感じるかもしれませんが事故防止のためにご理解をお願いいたします。



↑敦賀信用金庫前の交差点

保育園での睡眠時間

問 子どもが保育園で昼寝するので夜なかなか寝付けません。子どもの個性に合わせて、昼寝無しで保育してくれる場所があったら良いなと思っています。

答 町内の保育園では、給食後、午睡(昼寝)の時間を確保しています。これは、適切な休息をとらせて心身の疲れを癒し、集団生活による緊張を緩和することで、児童の健康を保つためのものです。

午睡は、年齢に応じて時間や期間に配慮しながら行っています。また、子どもたち全員に同じ時間だけ午睡させることは難しいため、その子に応じた睡眠や休憩時間をとっています。

今後、保育園では、子どもの様子を見ながら、子どもが健やかに成長できるように保育を行ってまいります。

◎美浜町では何の競技が行われるの？

美浜町では、ボート、軟式野球、ゲートボール、ローイングエルゴメーターの4競技を行います。
開催期間と会場は次のとおりです。

 <p>正式競技</p> <p>ボート</p> <p>平成 30 年 9月30日～10月3日</p> <p>会場 福井県立 久々子湖漕艇場</p>	 <p>正式競技</p> <p>軟式野球</p> <p>平成 30 年 10月5日～10月8日</p> <p>会場 美浜町 総合運動公園野球場</p>
 <p>障害者スポーツ大会(オープン競技)</p> <p>ゲートボール</p> <p>平成 30 年 10 月中旬(調整中)</p> <p>会場 ・美浜町西郷健康ひろば 屋内運動場 ・美浜町ゆうあいひろば</p>	 <p>デモンストレーションスポーツ</p> <p>ローイング エルゴメーター</p> <p>平成 30 年 8 月上旬(調整中)</p> <p>会場 ・美浜町総合運動公園 体育館(予定)</p>

福井しあわせ元気国体・大会で活躍して下さる

ボランティアを募集しています！

福井しあわせ元気国体・大会で全国から来県される方々を温かくお迎えするため、運営に協力して下さるボランティアを募集しています。両大会の成功に向けて一緒に盛り上げましょう！

<p>募集内容</p> <p>[募集人数] 200人</p> <p>[応募要件] 中学生以上の方</p> <p>[募集期間] 平成 29 年 3 月 1 日～募集人数に達するまで</p>	<p>申込方法</p> <p>申込書に必要事項を記入の上、町実行委員会事務局まで持参または郵送、FAX、メールしてください。</p> <p>※申込書は、町役場や各公民館等に設置しています。また、ホームページからダウンロードすることもできます。</p>				
<p>活動内容</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>会場サービス</p> <p>弁当配布 ドリンクサービス 車椅子貸出 など</p> </td> <td> <p>会場整理</p> <p>観客誘導 座席案内 駐車場案内 など</p> </td> <td> <p>会場美化</p> <p>会場清掃 ごみ箱の管理 花の管理 など</p> </td> <td> <p>受付・案内</p> <p>来場者受付 会場案内 資料配布 など</p> </td> </tr> </table>		<p>会場サービス</p> <p>弁当配布 ドリンクサービス 車椅子貸出 など</p>	<p>会場整理</p> <p>観客誘導 座席案内 駐車場案内 など</p>	<p>会場美化</p> <p>会場清掃 ごみ箱の管理 花の管理 など</p>	<p>受付・案内</p> <p>来場者受付 会場案内 資料配布 など</p>
<p>会場サービス</p> <p>弁当配布 ドリンクサービス 車椅子貸出 など</p>	<p>会場整理</p> <p>観客誘導 座席案内 駐車場案内 など</p>	<p>会場美化</p> <p>会場清掃 ごみ箱の管理 花の管理 など</p>	<p>受付・案内</p> <p>来場者受付 会場案内 資料配布 など</p>		

詳しくは、町ホームページをご覧ください。町実行委員会事務局までお問い合わせください。

■お申し込み・お問い合わせ先

町美浜創生戦略課 国体推進室内
「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会美浜町実行委員会事務局
☎ 32 - 6715 FAX 32 - 1115 E-mail kokutai@town.fukui-mihama.lg.jp

Facebook も
やっています！



福井しあわせ元気国体 2018 福井しあわせ元気大会 2018

第73回 国民体育大会 / 第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ

あと
1年6か月！



◎福井しあわせ元気国体・ 福井しあわせ元気大会って？

福井しあわせ元気国体 (第73回国民体育大会)

[開催期間]
平成 30 年 9 月 29 日(土)
～平成 30 年 10 月 9 日(火)

国民体育大会は、スポーツの普及や国民の健康増進・体力向上、地方スポーツの振興と地方文化の発展を目的とした国内最大の国民スポーツの祭典です。第1回大会は、終戦後の荒廃と混乱の中、スポーツを通して国民に勇気と希望を与えようと、昭和21年に京阪神地域で開催されました。以降、毎年、各都道府県持ち回りで開催されています。福井県での開催は、昭和43年の第23回国民体育大会から50年ぶり、2回目となります。

実施競技

- ・正式競技…37 競技
- ・公開競技…4 競技
- ・デモンストレーションスポーツ…36 競技
- その他、特別競技として高等学校野球を実施

福井しあわせ元気大会 (第18回全国障害者スポーツ大会)

[開催期間]
平成 30 年 10 月 13 日(土)
～平成 30 年 10 月 15 日(月)

全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的とした障がい者スポーツの祭典です。平成30年開催の福井県での大会が第18回大会となります。

実施競技

- ・正式競技…13 競技
- ・オープン競技…3 競技
- ・デモンストレーションスポーツ…36 競技

※正式競技…都道府県対抗で実施され、得点対象(天皇杯・皇后杯対象競技)となる37競技。
※公開競技、オープン競技…都道府県代表の参加により中央競技団体主導で開催するもの。得点対象にはならない。
※デモンストレーションスポーツ…子どもからお年寄りまで幅広く参加できるレクリエーションスポーツ。